

2009年度 第1回  
一般社団法人環境プランニング学会認定  
環境プランナー・ベーシック資格試験  
**問 題 用 紙**

(13時50分説明開始 制限時間2時間)

受験番号	
受験者氏名	



一般社団法人環境プランニング学会

## 1. 注意・確認事項

- (1) 問題用紙は、3～17ページ(問題は両面)です。  
また、解答用紙は別紙(1枚で、両面解答)です。
- (2) 問題用紙・解答用紙は持ち帰りできません。試験終了とともに回収いたします。
- (3) 答えは必ず解答用紙の所定の欄に記入してください。問題用紙に記入しても採点の対象になりません。
- (4) 解答用紙には、鉛筆またはシャープペンシル(ボールペンは使用不可)で記入してください。
- (5) 間違って記入の場合は、後の残らぬように消しゴムで消してください。  
答えが二つ以上読み取れる場合は、採点の対象になりません。
- (6) 解答欄は、1つの記入欄に1つの答えを記入してください。二つ以上記入の場合は採点の対象になりません。
- (7) 試験開始後1時間以上経過したら、退出が可能です。着席のまま手を上げて静かにお待ちください。試験官が問題用紙・解答用紙を回収した後、静かに退出してください。但し、試験終了時刻の10分前からは退出できません。終了時刻まで静かにお待ちください。
- (8) 試験問題の構成は以下の通りです。記入漏れがないように願います。  
合計点が70点以上で合格となります。

## 2. 試験問題の構成

問題番号	問題の形式	小 計
第1問	×問題	各1点×10問=10点
第2問	文中の空欄に適切な語句を選び、その記号を記入する問題	各1点×10問=10点
第3問	適切または不適切な記述を選択し、その記号を記入する問題	各1点×10問=10点
第4問	不適切または適切な文章を選択し、その記号を記入する問題	各2点×5問 = 10点
第5問	文章の[ ]にはいる語句を選択しその記号を記入する問題	各1点×20問=20点
第6問	文章の[ ]にいれる適切な語句を考え記入する問題	各1点×20問=20点
第7問	記述式問題：語群にある語句を使用し文章を記述する問題	各10点×2問=20点
合 計		100点

## 第1問(各1点×10)

次の～までの文章で、内容が正しいものには○、間違っているものには×を  
解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

世界の人口は、21世紀半ばには90億人程度になると予測されている。

「環境基本法」は、国の環境政策の基本理念を定めた法律であり、地球サミットを  
機に1993年に成立した。

日本の廃棄物は、一般廃棄物と産業廃棄物に分けられる。産業廃棄物はさらに特別  
管理産業廃棄物が規定されているが、一般廃棄物は家庭から出るゴミであり、特別  
管理に該当する廃棄物に関する規定はない。

環境会計とは、環境活動に積極的である組織に投資して得られた効果を、定量的に  
表したものである。

「資源の有効な利用の促進に関する法律(資源有効利用促進法)」とは、資源を有  
効に利用するために、エネルギー消費の削減を促進するための法律である。

2000年代の産業部門のエネルギー消費量は、日本全体の約45%を占めている。

日本は、世界の国々の中でも森林率が高い国であり、2000年代の木材の自給率  
は約60%である。

近年、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を地中に貯蔵する技術(CCS)が開発され、世界各  
地で地中貯留プロジェクトが進行している。

熱帯雨林は、生物多様性の維持に重要であるが、地球上の熱帯雨林は、毎年日本の  
森林面積の約1/3に匹敵するほどの面積が減少している。

カーボンフットプリントとは、商品の製造加工時に発生する温室効果ガスを、  
CO<sub>2</sub>排出量に換算して表示したものである。

## 第2問(各1点×10)

次の～までの問いの[ ]の部分にあてはまる、最も適切な語句を、下記の中から1つ選びその記号を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

環境基本法では、公害として「大気汚染」「水質汚濁」「土壌汚染」「騒音」「振動」  
[ ]「悪臭」を定めている。

- (ア) 廃棄物
- (イ) 海洋汚染
- (ウ) 地盤沈下
- (エ) 薬品汚染

循環型社会形成推進基本法では、処理の優先順位を[ ] 熱回収、  
適正処分と定めている。

- (ア) 発生抑制、再生利用、再使用
- (イ) 再生利用、再使用、発生抑制
- (ウ) 再使用、再生利用、発生抑制
- (エ) 発生抑制、再使用、再生利用

地球は約46億年前に誕生したといわれているが、生命が誕生したのは  
約[ ]億年前といわれている。

- (ア) 42億年
- (イ) 35億年
- (ウ) 21億年
- (エ) 16億年

製品そのものを売るのではなく、製品がもたらす「機能、サービス」を売ることを  
[ ]という。

- (ア) サービサイジング
- (イ) ネットサービス
- (ウ) サイドサイジング
- (エ) サービスセーリング

バイオマスとは生物資源(バイオ)の量(マス)を表し、エネルギー源として利用  
できる有機性資源として、栽培作物系と[ ]系がある。

- (ア) 化石燃料
- (イ) 廃棄物
- (ウ) 気体燃料
- (エ) 自然エネルギー

世界の人口は、1900年から2000年の間の100年間に、[ ]に増加した。

- (ア) 約10億人から約60億人の6倍
- (イ) 約15億人から約60億人の4倍
- (ウ) 約20億人から約60億人の3倍
- (エ) 約30億人から約60億人の2倍

右記「FSCマーク」とは、適切な[ ]を認証する制度である。

- (ア) 食品管理
- (イ) 魚類の捕獲管理
- (ウ) 森林の管理
- (エ) 農作物の安全管理



エコロジカルフットプリントとは、地球の環境容量を表している指標で、人間の活動が環境に与える負荷を、資源の再生産および[ ]に必要な面積として示した数値である。

- (ア) 廃棄物浄化
- (イ) 貯蔵
- (ウ) 水資源の供給
- (エ) 化石燃料採取

一般廃棄物の中から可燃物を選別し、粉碎、成形固化等の加工をしたものを一般に[ ]と呼んでいる。

- (ア) R P F
- (イ) R T D
- (ウ) R D F
- (エ) R P S

「食糧を輸入するということは、食糧を生産するために使用した水を輸入すること」につながるという考えで、その水を[ ]と呼んでいる。

- (ア) インポートウォーター
- (イ) バーチャルリアリティ
- (ウ) プレミスウォーター
- (エ) バーチャルウォーター

### 第3問 (各1点×10)

次の～までの問いにあてはまる、記述の記号を1つ選び、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

天然資源の埋蔵量を、現在の使用量/年で割った可採年数(残余年数)に関する記述で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 世界の石油の可採年数は、約40年といわれる。
- (イ) 天然ガスの可採年数は、約63年である。
- (ウ) 世界の石炭の可採年数は、約65年であり、天然ガスとほぼ同程度である。
- (エ) ウランの可採年数は約84年である。

エネルギーの使用に関して、最も適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 日本の省エネルギー技術は、第二次世界大戦時に開発された技術によるところが大きい。
- (イ) 日本は2度のオイルショックを経験し、石油に偏っていたエネルギー源を多角化した。
- (ウ) 日本の産業部門におけるエネルギー消費量では、製造業が産業部門の約5割程度を占めている。
- (エ) 民生用エネルギーの内、業務用のエネルギー使用量は、ここ10年間ほとんど変わっていない。

省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)で、最も適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 省エネ法の対象となる工場・事業場は、2008年の改正で事業者単位から事業所単位に変更され、対象が広がった。
- (イ) 省エネ法の指定工場(事業場を含む)の区分は、原油の使用量又は電気の使用量のどちらかで決まる。
- (ウ) 省エネ法では、輸送に関わる措置として、特定輸送事業者に対し、省エネルギーに関する計画の作成・提出やエネルギー使用量・省エネ措置への取り組みの報告等を義務付けているが、荷主に対しては特に義務付けはない。
- (エ) 省エネ法での「トップランナー方式」の基準対象機器には、自動車や変圧器が含まれている。

廃棄物に関して、最も適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 廃棄物を再資源化する過程で行う選別方式には、フィルター選別、遠心力選別等がある。
- (イ) リサイクルとは、廃棄物となったものを再資源化することであるから、最終処分量は減るが、廃棄物の発生量自体は減らない。
- (ウ) 金属系の循環資源としての利用率は比較的高く、約60%程度である。
- (エ) 非鉄金属鉱物系廃棄物は、循環利用率としては低く、循環利用率は20%程度であり、ほとんどが最終処分場で処分されている。

水資源に関して、最も適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 地球にある水の内、淡水は約13%しかなく、その内の約7割は極地の氷である。
- (イ) 世界で使用されている水の約7割は工業用水として使用され、今後の発展途上国の使用増加による枯渇が懸念されている。
- (ウ) 牛肉と豚肉を比較すると、豚肉は牛肉の2倍の水を仮想水として使用している。
- (エ) 日本の水の豊かさは、年間を通じた降水量と土壌の水質浄化能力に支えられている。

レスポンシブル・ケアに関して、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) レスポンシブル・ケアは、化学工業界での環境、労働安全への取組である。
- (イ) レスポンシブル・ケアは、化学物質審査法にもとづく規制にあたる。
- (ウ) レスポンシブル・ケアは、1992年の地球サミットのアジェンダ21（行動計画）の一つとして奨励されている。
- (エ) 日本では、(社)日本化学工業協会が、レスポンシブル・ケア協議会を設立し活動を推進している。

京都議定書に関する国内法についての記述で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 京都議定書の目標を達成するためにできた国内法は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」である。
- (イ) 「京都議定書目標達成計画」では、産業や運輸部門に対する目標は定めているが、業務や家庭の目標までは定めていない。
- (ウ) 「京都議定書目標達成計画」は、2008年3月に見直され、新しい目標に向かって行動することになった。
- (エ) 「京都議定書」では、数値目標は各国決められているが、その目標達成方法は各国の施策に任されている。

「生態系サービスがもたらす4つの福利」に関する記述で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) 供給サービスには、食糧、材木、繊維材料などがある。
- (イ) 調整サービスには、気候緩和、洪水の調整、水質の浄化作用などがある。
- (ウ) 文化的サービスには、生態系から得られる非物理的利益で精神的、審美的、教育的サービスがある。
- (エ) 基盤サービスとは、他の生態系サービスの基盤となるもので、病気の制御や化学物質の無毒化、水の生成などがあげられる。

モーダルシフトについての記述で、最も適切なものを1つ選びなさい。

- (ア) 鉄道と営業用トラックを比較すると、CO<sub>2</sub>排出量原単位では、鉄道はトラックの約1/3である。
- (イ) トラックによる輸送は、輸送距離が長いほどその占める比率は小さくなる。
- (ウ) 貨物輸送機関別輸送量(トン・km)は、2006年度は、貨物自動車による輸送が約8割を占めている。
- (エ) 輸送機関別貨物輸送量(トン・km)効率は、貨物自動車、鉄道、船舶(内航海運)の順で良くなる。

バイオマスエネルギーについての記述で、最も不適切な記述を1つ選びなさい。

- (ア) バイオマスエネルギーとは、バイオマスの燃焼によるエネルギーであり、化学的に得られるメタンやメタノール等は含まれない。
- (イ) 牛などの家畜の糞尿を発酵処理して発生したガスにより発電を行うことは、資源の有効利用の方法である。
- (ウ) 樹木は、その成長期にCO<sub>2</sub>を吸収し、炭素として蓄積し酸素を排出するので、間伐等による健全な森の育成が重要である。
- (エ) 京都議定書では、日本は森林吸収源枠として3.9%が認められている。



#### 第4問(各2点×5)

次の～までの問いにあてはまる、文章の記号を1つ選び、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

環境問題とその取り組みに関して、最も適切な文章を一つ選びなさい。

(ア) 人類が生存し続けるには、経済と環境そして資源の三つが成り立たねばならない。

しかし、このまま人類の経済活動が拡大し続けられれば、化石燃料が枯渇し、地球温暖化が進み、異常気象が発生するということが懸念されている。そのような状況の中で、日本の環境政策の一つとして、環境省は財団法人日本適合性認定協会(JAB)を設立し、ISO14001の認定制度を1996年に立ち上げた。

(イ) 企業で働く人たちは、組織の社会的使命と共に、倫理的にも環境配慮を推進しなければならない。倫理とは「人と人との秩序関係、人として守らねばならない道」と言われており、当然企業人として守るべき倫理が存在する。倫理は法規制と異なり他律的である。

(ウ) 南極の氷床コアから得られた過去34万年前の気温の変化を見ると、地球の平均気温は10万年周期で氷期と間氷期を繰返しており、現在は間氷期に当たることがわかる。氷期と間氷期の平均気温の温度差は4～7程度で、この差は緩やかな変化であり、急激に気温が上昇したり下降したりしたものではない。

(エ) 資源の枯渇、地球温暖化、オゾン層破壊、砂漠化等の地球環境問題への取り組みは、問題として認識されてから多くの年月がたっているわけではない。地球規模の環境問題に対し、世界の国々の取り組みが必要であるという認識のもと、環境関連の最初の国連会議がブラジルのリオデジャネイロで1992年開催された。いまから17年前のことである。

製造業の省エネルギーへの取り組みで、最も不適切な文章を一つ選びなさい。

(ア) 日本の省エネルギーの取り組みは、オイルショックを契機として本格化した。オイルショック時にはエネルギーコストが急騰したため、エネルギーを大量に消費する産業は、省エネルギー対策に注力した。大量にエネルギーを消費する産業の中で、素材産業では、鉄鋼、化学工業、セメント、紙パルプ等があげられる。

(イ) 製造業における省エネルギーを推進する基盤技術として、工場での製造機械の回転数制御技術がある。回転数を変える方法として、ベルトに回転を伝える滑車(プーリー)の径を変える方法と、インバーターで回転数を変える方法があり、これらの技術は、製造業の現場のみならず、家庭用エアコン等の製品にも採用されている。

- (ウ) 素材産業の工程では、大量のエネルギーを消費しており、製造業全体の約7割を占めている。鉄鋼業では、鉄鉱石から銑鉄を作る高炉 転炉法と、鉄のスクリップを電気炉の中で溶かし、粗鋼を作る電気炉法がある。粗鋼トン当たりのエネルギー消費量は、電気炉法の方が大きくなる。
- (エ) セメント製造業は、1970年代から1980年代にエネルギーを最も消費する焼成設備を、湿式から乾式に切り替え、エネルギー効率を2倍に向上させた。また燃焼機器の改良と共に、石油から石炭への燃料転換を実施し、オイルショックの影響を回避した。

IPCC評価報告書に関して、最も不適切な文章を一つ選びなさい。

- (ア) 2001年公表のIPCC第3次評価報告書では、地球温暖化の原因に関し「人為的な温室効果ガスの放出が原因である確率は9割を超える」と報告され断定的言い方であったが、第4次評価報告書では「地球温暖化の原因は、温室効果ガスである可能性が高い」という表現に変わった。
- (イ) IPCC第4次評価報告書では、環境の保全と経済の発展が両立する社会では、地球の平均気温は、1.1 ~ 2.9 上昇し、海面は18cm ~ 38cm上昇し、化石エネルギー源を重視しつつ高い経済成長を実現する社会では、地球の平均気温は、2.4 ~ 6.4 上昇し、海面は26cm ~ 59cm上昇すると報告している。
- (ウ) IPCC第2作業部会では、地球の自然環境のデータによると、温暖化の影響は、世界のほとんどの地点で影響を受けていると指摘している。その例として、氷河湖の増加・拡大、永久凍土地域での地盤の不安定化、山岳での岩なだれの増加、春季現象の早期化、動植物の高緯度・高地への移動、媒介生物による感染症リスクの増大等をあげている。
- (エ) 2007年度のノーベル平和賞に「IPCC及びゴア元米副大統領」が選ばれた。IPCCのパチャウリ議長は、「世界には、貧困のために気候変動に対応できるインフラが整備されていない地域が存在する。取り返しがつかなくなる前に、早急な対策が必要だ」と警告している。

環境マネジメントシステム(EMS)について、最も適切な文章を一つ選びなさい。

- (ア) ISO14001(JISQ14001)環境マネジメントシステムは、導入すれば間違いなくパフォーマンスが向上し、結果として顧客満足が得られ、組織の利益が向上する仕組みであり、現在日本の2万を超える組織が導入し取り組んでいる。
- (イ) ISO14001(JISQ14001)規格の序文では、「この規格は大組織の環境マネジメントシステムとして運用されることが望ましい」としており、運用組織は大企業が対象である。
- (ウ) 環境マネジメントシステムの基準にもとづいたシステムを構築し、運用しているという適合性は、外部認証機関によって示すことができる。  
ISO14001環境マネジメントシステムでは、自己宣言で適合性を示すこともできるので、自治体では自己宣言が増加の傾向にある。
- (エ) ISO(国際標準化機構)とは全産業分野の国際規格を作成する非政府組織であり、1947年設立された。本部はフランスのパリである。「ISO」という言葉は、ギリシャ語の「均等、均質、相等しい」という「ISOS」から採用されたものである。

生態系に関する記述で、最も不適切な文章を一つ選びなさい。

- (ア) 開発や環境の変化に伴う種の絶滅は、地球の歴史で類のないほど急激に進んでいると言われる。わが国では、野生生物種の中で絶滅やその恐れのある生物種を「レッドデータブック」として発表しているが、記載されている生物種は減少の傾向にある。
- (イ) 野生とは、基本的に人が関与しない状態で、動物種が自然の状態であることをいう。餌付けなど人が特定の野生生物に関与すると本来の生態系に影響を与えることがある。生ゴミのずさんな廃棄は、カラスへ餌付けをしていることになる。
- (ウ) HEPとはハビタット(生物種の生息・生育環境)評価手続きである。生物種の生息・生育環境として、面積と質の両面から将来的にどのようにハビタットの価値が変化するかを評価する。
- (エ) 里地里山とは、二次林を中心に田畑やため池、水路、草地などをもち、人里近くでヒトによる影響を受けた生態系がある状態の場所をいう。環境省の調査では、全国の希少種の集中分布地位の5割以上が里地里山にあたる。代表的な里山は、薪炭地である。

## 第5問 (各1点×20)

次の1～4までの問いの[ ]の部分にあてはまる、最も適切な語句を、下記の語群の中から1つ選び、その記号を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

1. 温室効果ガスに関する次の文章の[ ]の部分にあてはまる、最も適切な語句を下記の語群から選びなさい。

世界の国々から排出される温室効果ガス(CO<sub>2</sub>換算)は、年に約[ ]億トン(2004年)であり、[ ]で約40%を占めている。

日本は、温室効果ガス(CO<sub>2</sub>換算)を年に約[ ]億トンを排出しており、これは国民1人あたり年に約[ ]トンを排出したことになる。

日本の排出温室効果ガスは、GWP(地球温暖化係数)で換算すると、約95%が[ ]である。

【語群】(ア) 361 (イ) 265 (ウ) 182 (エ) 中国とインド  
(オ) 米国と中国 (カ) 米国とロシア (キ) 8 (ク) 10 (ケ) 13  
(コ) 15 (サ) 18 (シ) 一酸化二窒素 (ス) 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)

2. わが国の物質循環に関する次の文章の[ ]の部分にあてはまる、最も適切な語句を下記の語群から選びなさい。

日本のマテリアルフローにおいて、わが国に入ってくる資源や製品に比べて、出て行く製品等の物質量は約[ ]%であり、国際的視野で見ると、適正な物質循環が確保されているとは言いがたい。

日本の年間廃棄物総発生量(2005年度)は、約[ ]億トンである。その内年間の[ ]量は、約4.4億トンである。これは年間の[ ]量の約8倍にあたる。

廃棄物のうち循環利用されるものは、約2.3億トンであり、これは[ ]投入量の約14%にあたる。

【語群】(ア) 5.8 (イ) 7.2 (ウ) 20 (エ) 35 (オ) 国内資源  
(カ) 総物資 (キ) 天然資源 (ク) 一般廃棄物 (ケ) 産業廃棄物  
(コ) 中間処理 (サ) リサイクル

3. 自然エネルギーの利用に関する次の文章の [       ] の部分にあてはまる、最も適切な語句を下記の語群から選びなさい。

自然エネルギーには、太陽エネルギー、風力エネルギー、地熱、水力等があげられる。

太陽エネルギーの利用には、太陽光発電（太陽電池）と太陽熱利用がある。太陽光発電のソーラパネルの生産量は日本が世界一だが、発電量は [       ] が一番多い。

太陽熱利用は、太陽熱を集めて [       ] を作るもので、暖房や給湯に利用されている。設備費が比較的安価であり、日本の家庭のCO<sub>2</sub>排出量の約 [       ] が給湯により排出されていることを考えると、更なる普及が望まれている。

風力発電は、風向、風速により発電量が、風まかせという不安定さはあるものの供給は国際情勢に左右されないという純国産エネルギーである。日本の設置場所は、比較的風に恵まれた [       ] で、導入割合が高くなっている。風力発電の問題としては、突風、騒音、振動、 [       ] 電波障害、生態系への影響等があげられる。

【語群】(ア) アメリカ (イ) ドイツ (ウ) スペイン (エ) 温風 (オ) 温水  
(カ) 冷温水 (キ) 1 / 2 (ク) 1 / 3 (ケ) 1 / 4 (コ) 山陰  
(サ) 山陽 (シ) 北陸 (ス) 東北・北海道 (セ) 景観 (ソ) 光害

4. 化学物質と環境問題に関する次の文章の [       ] の部分にあてはまる、最も適切な語句を下記の語群から選びなさい。

化学物質は、日常生活に必要不可欠なものであるが、中には少量でも健康に有害な物質がある。化学物質に関連する公害として、熊本や新潟で発生した水俣病の原因物質は [       ] であり、富山県の神通川流域で発生したイタイイタイ病は [       ] が原因である。また北九州で発生した食品公害、カネミ油症事件は [       ] の混入が原因である。

世界に目を向けると、イタリアの農薬工場の爆発でダイオキシン飛散した [       ] 事故がある。また、アメリカでは、埋立て地からの有害化学物質が流出したラブキャナル事件が発生している。この事件は、 [       ] 制定のきっかけになった事件でもある。

【語群】(ア) 鉛 (イ) 水銀化合物 (ウ) 六価クロム (エ) カドミウム  
(オ) PCB (カ) DDT (キ) ガダルカナル (ク) バルディーズ  
(ケ) ボパール市 (コ) スーパーファンド法 (サ) セベソ

## 第6問 (各1点×20)

次の1～4までの問いの[ ]の部分にあてはまる、最も適切な語句を考え、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

1. 環境配慮設計に関する次の文章の[ ]の部分に入れる、最も適切な語句を記入しなさい。

環境配慮製品にはさまざまなものがあるが、商品にするまでの環境負荷を抑えたものと、製品の使用時のエネルギー消費を少なくするものがある。

商品のライフサイクル全般(資源採取から廃棄まで)で排出された温室効果ガスをCO<sub>2</sub>換算で表したものを[ ]と呼んでいる。商品にこのような表示をすることで、事業者の[ ]対策を消費者にアピールするとともに、消費者自身のCO<sub>2</sub>排出削減の自覚を促すもので、国際的取り組みとするため[ ]化が進められている。

一方、製品の使用時の消費エネルギーの削減するために、多くの省エネ製品が開発されている。自動車では、製造までのCO<sub>2</sub>排出量は、一般の自動車に比べ[ ]の方が重装備であるため多いが、使用時は逆に少なくなり、トータルではCO<sub>2</sub>排出量が減ることになる。

電気製品では使用時のエネルギー効率を向上した冷蔵庫や、待機電力を少なく抑えた、テレビや複写機、プリンターも開発されている。このような省エネ製品は、省エネラベルで表示され、特にエアコン、テレビ、電気冷蔵庫は、[ ]省エネラベルで、詳細な省エネ性能が示されている。

2. 地域社会での環境改善活動に関する次の文章の、[ ]の部分に入れる、最も適切な語句を記入しなさい。

地域に根ざした環境改善活動は、そのエリアに住む人達の意識改善につながり、健全な地域の[ ]形成に役立つ。

そして、循環型社会での活動に最適な規模のエリアは[ ]圏と呼ばれ、循環型社会形成推進法に基づく基本計画でも取り上げられている。地域での活動の例として菜の花プロジェクトがあげられる。これは、農家と一般市民の[ ]作業プロジェクトである。

地域での活動を支える力となる活動には、ボランティア活動がある。ボランティア活動とは、個人の自由意志で[ ]的に行う活動である。それに対しNPO法人の活動があるが、これは、利益の再配分を行わない非営利団体であり、NPOは団体、ボランティアは個人を主体とした活動である。言い換えれば、NPOは、活動の場をつくり参加を求め、ボランティアは参加する側にある。

NPOは利潤を上げるのが目的でなく、その団体の活動目的や目標を達成するために活動しているが、その目標に対する宣言は[ ]ステートメントと呼ばれている。

3. 環境マネジメントシステムに関する次の文章の、[ ]の部分に入れる、最も適切な語句を記入しなさい。

環境マネジメントシステムとは、言い換えれば「環境[ ]の仕組み」であり、システム化とは、「誰が行っても同じようによい結果が導き出せる方法で、業務が進められるようにすること」であり、業務の継続性につながるものである。

システム化の基本は、[ ]サイクルをまわすことであり、これはデミングサイクルとも呼ばれ、[ ]の4つの段階を順次実施し、業務を継続的に改善することである。

組織のマネジメントには、財務、人事、品質、環境、労働安全、情報セキュリティ等、さまざまなマネジメントがあるが、これは別々に存在するのではなく、基本は同一であり、これらの運用を[ ]化することにより、効果的効率的運用が可能になる。

環境マネジメントシステムには、さまざまなスキームが存在するが、日本では環境省が中心になり基準を策定した[ ]がある。またシステムの構築運用レベルを5段階に設定したスキームとして[ ]がある。

4. 環境への活動の参加に関する次の文章の、[ ]の部分に入れる、最も適切な語句を記入しなさい。

環境問題への取り組みの流れはさまざまだが、まず「[ ]への正しい認識」が発端になる。そして、正しい認識と関心のもとで参画意識を持ち、活動のルートを探り参加することが重要である。

環境への取り組みをアクティブに、そして継続して活動するには、仲間と共に活動のルールをつくって確実に実施していくことが必要とされる。

環境の活動には、CO<sub>2</sub>削減を目的とし、国民が手近に実施できる運動として、[ ]が立ち上げられ、個人・法人・団体がチーム員として参加している。

さらに家庭での取り組みとして、環境家計簿がある。環境家計簿は、環境に関係する出来事や行動に対する[ ]を家計簿のように記録していくものであり、環境省ではインターネットで入力式の[ ]帳を公開している。また環境省は、家庭で楽しく「環境にやさしい暮らし」に取り組めるように、「我が家の[ ]大臣」というウェブサイトを開設し、エコライフの情報提供を行っている。

## 第7問 (10点×2)

次の記述式問題 (1)及び(2)に答えなさい。

- (1)「天然資源の枯渇」及び「環境事故、不祥事の発生」のメカニズムおよび取り組みについて、下記語群の中の語句を選択し、使用して解答欄に記述しなさい。すべての語句を使わなくても、複数回使用してもかまわないが、使用した語句は解答文中にアンダーラインを引いて示すこと。

[語群] 天然資源の枯渇  
化石燃料 省エネルギー 再生可能エネルギー 太陽光発電  
風力発電 原子力発電 バイオマスエネルギー 長寿命化  
3R

環境事故、不祥事の発生  
データの改ざん 臨界 手順 倫理観 コンプライアンス  
モラル 社内コミュニケーション 形骸化 偽装  
情報公開 利害関係者

- (2)下記の文章を読んで問題に答えなさい。

工業団地内のA社は、重油を燃料としてボイラーを運転しており、大気へ排気ガスを排出している。煙突からの排気ガスを分析し、ばい煙の量を測定しているが、先日の測定で大気汚染防止法の基準値をオーバーしていることが判明した。原因を調査したところ、使用しているフィルターに一部破損があり、さらに定期交換時期を過ぎて使用していたことがわかった。なぜ定期交換されなかったかさらに調べたところ、施設管理部の担当者が最近かわり、業務の引継ぎがきちんと行われていなかったことが判明した。

- 【問題】上記の事態に対して、コンプライアンスという観点から、組織としてどのように手を打てばよいか、下記の語群の語句をすべて使って枠内に記述しなさい。  
複数回使用してもかまわないが、使用した語句は解答文中にアンダーラインを引いて示すこと。

[語群] 大気汚染防止法 真の原因の追究 再発防止 業務引継ぎ書  
ダブルチェック 関連行政機関への連絡 フィルターの交換  
教育の実施